

生きもの調査レポート

2021年10月9日 場所：神奈川県愛川町JONA田んぼ 天気：晴れ 気温25度

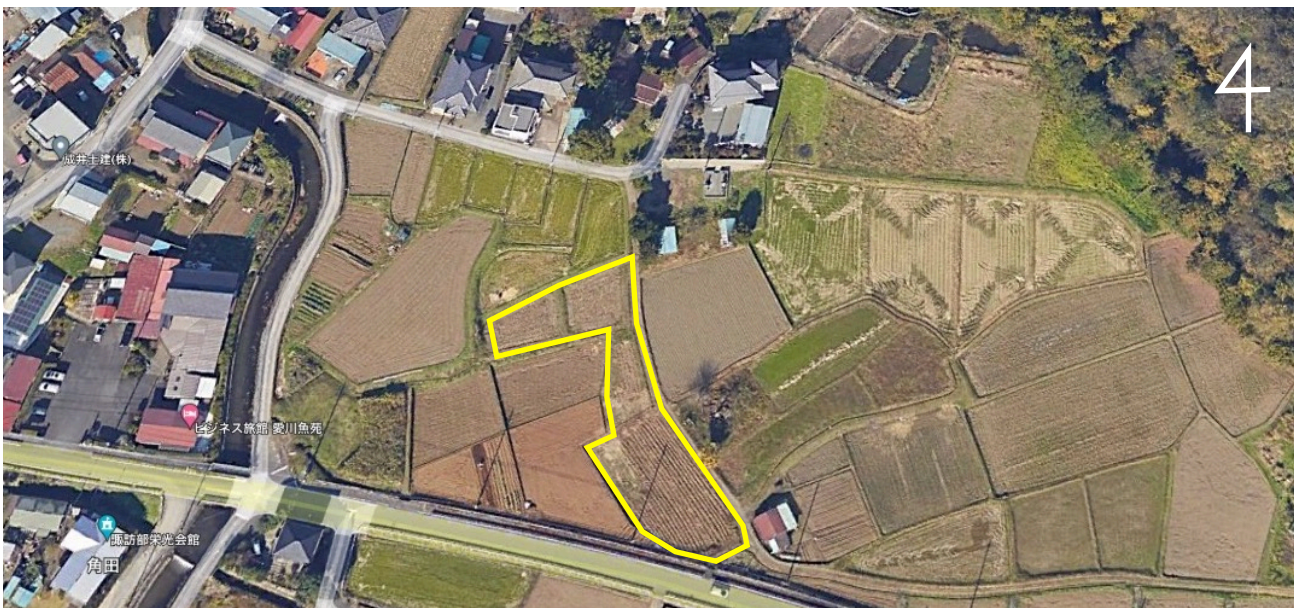
| JONA稲刈り（水無し） | | |
|--|----------------|--|
| 動物調査 | 出現種数 | 種名 |
| 鳥 | 8種 | カワラヒワ、スズメ、セグロセキレイ、ダイサギ、トビ、ハクセキレイ、ハシブトガラス、ヒヨドリ、モズ |
| 両生類 | 1種 | アマガエル |
| 貝類 | 3種 | ヒダリマキマイマイ、オナジマイマイ類（潰れ）、▲チャコウラナメクジ |
| チョウ類 | 5種 | キアゲハ、アゲハ類黒、モンシロチョウ、キチョウ、ヤマトシジミ |
| 甲虫 | 7種 | ナミテントウ、ヒメカメノコテントウ、オオヒラタゴミムシ、マルクビゴミムシ類？、メダカハネカクシ 毒：アオバアリガタハネカクシ、マメハンミョウ |
| トンボ | 2種 | ミヤマアカネ、アカネ類（ナツ、アキ判別つかず） |
| バッタ類 | 7種 3種 2種 | バッタ：オンブバッタ、ショウリョウバッタ、コバネイナゴ、ハネナガイナゴ、ハラヒシバッタ、トゲヒシバッタ、ヒナバッタ コオロギ：エンマコオロギ、オカメコオロギ、クマスズムムシ キリギリス：クビキリギリス、ウスイロササキリ |
| カメムシ | 5種 | アオクサカメムシ、イネカメムシ、トゲシラホシカメムシ、コオイムシ、ウンカ類 |
| 他の昆虫 | 4種 | ヒメスズメバチ、カマキリ、ヒトスジシマカ、イエバエ類、 |
| クモ | 9種 | 徘徊：イオウイロハシリグモ（幼体）、キクヅキコモリグモ、イモコモリグモ、オスクロハエトリ、ヤハズハエトリ 造網：アシナガグモ、ヒメアシナガグモ、ジョロウグモ、ナガコガネグモ |
| その他 | 1種 | フトミミズ |
| 動物57種 確認 ※y = 幼虫 ▲ = 外来種 | | |
| 目立った生きもの：（アマガエル、徘徊性のクモ類、イナゴ、クビキリギリスなど） | | |
| 畦草調査 | 出現種数 | 種名 |
| 在来種 | 31種 | 畦周り：アオカラムシ、イヌガラシ、イヌタデ、イノコヅチ、オオジシバリ、オオバコ、カキドオシ、カタバミ、カラスウリ、カラスビシャク、キンエノコロ、コヒルガオ、スギナ、タイヌビエ、チカラシバ、チヂミザサ、ツユクサ、ノチドメ、ノミノフスマ、ハコベ、ヒガンバナ、ヘクソカズラ、ヘビイチゴ、ホトケノザ、メヒシバ、ヨメナ、ヤナギタデ、ヤブカンゾウ 田の草：オモダカ、コナギ、セリ |
| 外来種 | 10種 | アメリカアゼナ、アメリカイヌホオズキ、アメリカセンダングサ、アメリカキカシグサ、アメリカタカサブロウ、オモダカ、オランダミミナグサ、コセンダングサ、ハルジオン、ヒメオドリコソウ |
| 植物41種確認 ※畦草の外来種率24.4% | | |
| *17世紀（江戸時代）以降は外来種に入れてあります。 | | |

稲刈り中のJONA愛川田んぼ 解説

台風もあり、昨年より1週間遅れで稲刈り時の生きものを観察しました。転作をしているからか地面は湿り気が少なく、乾燥に弱いトウキョウダルマガエルは昨年同様、今の時期は見られませんでした。転作すると水性貝類などは基本的に通常の田んぼより減る・または見られないことが多いです。その代わりに、普通の田んぼや畑とは違う転作地ならではの生物相が見えてくるような気がします。

稲刈り直後のJONAの有機栽培田んぼをみて驚くのは、クモやアマガエル、テントウムシやゴミムシなど肉食の小動物が多いことです。当日確認された甲虫はほぼ肉食でした。その中でアオバアリガタハネカクシとマメハンミョウ（幼虫はバッタ類の卵塊を食べ、成虫は草食）などは体液が付くと皮膚が炎症を起こすので、不用意に掴まないように気を付けましょう。

植物に関しては、まめに草刈りをしてきているからだと思いますが、チドメグサやカキドオシという、丈が低くて横に這う在来の草が法面を覆ってくれています。これらはお茶や野草料理にも使われたりする有用なものでもあり、除草剤を使わない畦管理が田んぼの風景にも現れています。農道に面した石垣の一角1~2㎡だけでも18種類の植物を確認できました。この石垣が残っているというのも、風景や生態系の豊かさを保つ上で大切になってきます。商業的な生産行為ではない持久目的の田畑には、昔ながらのスローな風景が残っており、生きものたちの多様性維持にも重要だと思いました。



2021年度の愛川 JONA有機田んぼ。草原や物置の木々は、北東の森林で越冬するトンボや水生昆虫の避難場所、コリドー（緑道）としての機能もあると思われます。



有機稲刈の風物詩
足元のコナギの花



ハネナガイナゴの交尾



マメハンミョウ



オカメコオロギ



クマスズムシ



クビキリギス



コオイムシ



イネカメムシ



オオヒラタゴミムシ



同じナガコガネグモ。餌が豊富な
田んぼにいた右側の個体は大きい